

雜 錄

支那國改訂輸入稅率 (金屬及化學工業品の一部) (官報 625 號昭和 4 年 1 月 31 日)

外務省告示第 6 號、今般支那國國民政府より、本年 2 月 1 日以後下表支那國改訂輸入稅率を實施致度旨照會し來りたるを以て帝國政府は在支帝國臨時代理公使をして國民政府に對し其實施を承認する旨 1 月 30 日附を以て回答せしめたり (昭和 4 年 1 月 31 日外務大臣男爵田中義一)

金 屬		鐵 及 鋼	
105	「アルミニウム」	從價	1 割
106	「アルミニウム」板	〃	〃
107	「アンチフリクション・メタル」	〃	〃
108	安知母尼(粗又は精製のもの)	一擔	1.40
109	安知母尼鑛	從價	1 割
眞 鍮 及 黃 銅		鐵 及 鋼 (電鍍せざるもの但し竹狀) (鋼彈條鋼及工具鋼を除く)	
110	條及竿	1 擔	2.60
111	牡牝螺旋釘、鉸釘、座金 及同附屬	從價	1割2分5厘
112	塊(故眞鍮又は故黃銅を鎔融 したるものを含む)	1 擔	2.60
113	釘	〃	3.80
114	故きもの又は屑(改造さるべ きものみに限る)	從價	1 割
115	螺旋釘	〃	1割2分5厘
116	板	1 擔	3.60
117	管	〃	4.80
108	線	〃	2.60
119	別號に掲げざるもの 銅	從價	1 割
120	條及竿	1 擔	3.40
121	牡牝螺旋釘鉸釘及座金	從價	1割2分5厘
122	塊及錠(故銅を鎔融したるも のを含む)	1 擔	2.20
123	釘	〃	7.00
124	故きもの又は屑(改造さるべ きものみに限る)	從價	1 割
125	板	1 擔	4.00
126	鋸	從價	1割2分5厘
127	管	〃	1 割
128	線	1 擔	3.00
129	電纜	從價	1 割
130	線索	〃	〃
131	別號に掲げざるもの	〃	〃
132	鐵砧、型鐵砧、鋸又は同部分 品及鍛製品		
	(イ) 1 箇の重量 25 封度又は 以上のもの	1 擔	2.60
	(ロ) 1 箇の重量 25 封度以下 のもの	從價	1 割
133	牡牝螺旋釘及座金	〃	1割2分5厘
134	鑄物(粗なるもの)	1 擔	1.22
135	鏈(新しきもの)及同部分品	〃	1.86
136	鏈(使用せられたるもの)	從價	1 割
137	「コップル」、短截線、屑線、 條鐵の斷片、古箍及箍の斷 片、電鍍したるもの又は然 らざるもの(大きに關せず 大小混交の屑物をも含む)	1 擔	0.30
138	交叉軌條及轉車臺	從價	1 割
139	箍	1 擔	0.48
140	故きもの又は屑(改造さる べきものに限る)にして別 號に掲げざるもの	〃	0.20
141	釘鐵、條、扭條又は畸形條、 丁形、溝形、山形、桁、梁其他 の形鐵又は成形鐵(幅4分の 1 吋を越ゆる巻きたる半楕 圓條及直徑 16 分の 3 吋を 越ゆる巻きたる條を含む)	〃	0.46
142	釘(線にて作りたるもの又は 切りたるもの)	〃	0.80

143	銑鐵及鑄鐵	〃	0.22	174	板	〃	1.04
144	筒、管及其繼手	從價	1 割	175	線	從價	1 割
145	板の斷片(大きに關せず大小混交の屑物及溝形、丁形及山形の斷片を含む)	1 擔	0.26	176	別號に掲げざるもの	〃	〃
146	軌條及軌條と共に用ふる鋼「スリパー」、「フィッシュ・プレート」、「スパイク」、牡牝螺旋	〃	0.30	177	「マンガニース」	〃	〃
147	鉸釘	〃	0.975	178	フェロ、マンガニース	〃	〃
148	螺旋釘	從價	1割2分5厘	179	ニッケル(製品及未製品)	1 擔	4.20
149	板(厚8分の1吋以上のもの)	1 擔	0.46	180	水銀	〃	8.80
150	〃(厚8分の1吋未滿のもの)	〃	0.50		錫		
151	「スパイク」	從價	1割2分5厘	181	コムパウンド	從價	1 割
152	鉸	1 擔	2.50	182	塊及錠	1 擔	4.60
153	錫鍍葉鐵(裝飾を施したるもの)	〃	1.46	183	管	從價	1 割
154	〃(無地のもの)	〃	0.90	184	別號に掲げざるもの(錫箔を含まず)	〃	〃
155	〃(故きもの)	從價	1 割	185	活字用合金	〃	〃
156	錫鍍鉸	1 擔	3.75		白銅又は洋銀		
157	線	〃	0.75	186	條、塊及板	1 擔	5.80
158	線索の新しきもの(電鍍したるもの又は然らざるもの)但し纖維芯の有無を分たず	〃	2.80	187	線	〃	6.60
159	同故きもの(電鍍したるもの又は然らざるもの)但し纖維芯の有無を分たず	從價	1 割	188	別號に掲げざるもの	從價	1 割
160	別號に掲げざるもの	〃	〃		亞鉛		
	工具鋼及彈條鋼			189	粉及塊	1 擔	0.92
161	竹狀鋼	1 擔	0.54	190	薄板(穿孔したるものを含む)板及汽罐用板	〃	1.62
162	彈條鋼	從價	1 割	191	別號に掲げざるもの	從價	1 割
163	工具鋼(高速度鋼を含む)	〃	〃	192	各種金屬製箔又は葉	〃	22.5%
	鐵及鋼(電鍍したるもの)			193	別號に掲げざる金屬及鑛產物	〃	1 割
164	牡牝螺旋釘、鉸釘及座金	從價	1割2分5厘	194	別號に掲げざる礦石(中略)	〃	〃
165	筒、管及其繼手	〃	1 割		化學藥		
166	螺旋釘	〃	1割2分5厘	366	醋酸	1 擔	1.80
167	板(波形及平面のもの)	1 擔	0.92	367	硼酸		
168	線	〃	0.72		(イ) 1 個の包裝 7 封度より少なからざるもの	1 擔	1.44
169	別號に掲げざるもの	從價	1 割		(ロ) 1 箇の包裝 7 封度以下のもの	從價	1 割 25
170	鐵及錫の交渣	1 擔	0.66	368	石炭酸	〃	〃
	鉛			369	鹽酸(大量容器入のもの)	1 擔	0.36
171	故きもの(改造さるべきものに限る)	從價	1 割	370	硝酸	〃	0.825
172	塊及條	1 擔	0.70	371	硫酸	〃	0.27
173	管	〃	1.38	372	アンモニウム(大量包裝のもの)	〃	2.75
				373	鹽化アンモニウム	〃	2.50
				374	硫酸アンモニウム	〃	0.42
				375	晒白粉(次亞鹽酸石灰)	〃	0.42
				376	硼砂(イ)粗製のもの	〃	0.72
					(ロ)精製のもの	〃	1.20
				377	炭化石灰	〃	0.60

378 硫酸銅	1 擔	1:30
379 クリセリン		
(イ) 1 箇の包装 28 封度より少 からざるもの	〃	4:00
(ロ) 1 箇の包装 28 封度以下の もの	従價	0 割 5
380 生皮消毒劑	〃	1 割 25
381 別號に掲げざる動物肥料化學 肥料及人造肥料	従價	0 割 75
382 ナフタリン	1 擔	1:30
383 重クローム酸加里	〃	3:00
389 硝石	〃	1:095
385 曹達灰	〃	0:325
386 重炭酸曹達(大量包装のもの)	〃	0:275
387 苛性曹達	〃	0:90
388 結晶曹達	〃	0:49
389 濃厚結晶曹達	〃	0:825
390 硝酸曹達(智利硝石)	〃	0:615
391 硅酸曹達	〃	0:50
329 硫化曹達	〃	0:39
393 酒精(甘味を附せざるアラ ツク・メチール・アルコール、 木精及フューセル油を含む)1英ガロン		0:105
394 別號に掲げざる化學藥		
(イ) 礦物性酸類及重化學藥	従價	0 割 75
(ロ) 其他	〃	1 割 25
(中略)		
石炭燃料、瀝青及タール		
559 木炭	1 擔	0:142
560 石炭	1 噸	0:51
561 煉炭	従價	1 割 25
562 「ピッチ」	〃	1 割
563 「コールター」	1 擔	0:32
564 「コークス」	従價	7 分 5 厘
陶磁器、瑛瑯鐵器及硝子類		
565 錫鍍葉鐵鉢		
(イ) 直徑 13 吋を超えざるもの	1 哥	0:84
(ロ) 直徑 13 吋を超ゆるもの	従價	1 割
566 陶磁器	〃	7 分 5 厘
瑛 瑯 鐵 器		
567 鉢、「ボール」「カップ」及「マツグ」		
(一) 直徑 11 センチメートルを 超えざるもの	1 打	0:068
(二) 直徑 11 センチメートルを		

超え 22 センチメートルを 超えざるもの	1 打	0:132
(三) 直徑 22 センチメートルを 超え 36 センチメートルを 超えざるもの	〃	0:225
(四) 其他のもの		
(イ) 1 箇五海關兩を超ゆるもの	従價	1 割 75
(ロ) 其他	〃	0 割 75
568 別號に掲げざる瑛瑯鐵器		
(イ) 1 箇五海關兩を超ゆるもの	〃	1 割 75
(ロ) 其他	〃	0 割 75
土、石及其製品		
574 「セメント」	1 擔	0:081
575 「コランダム・サンド」	〃	0:38
576 耐火煉瓦	従價	1 割
577 耐火粘土	1 擔	0:122
578 燧石(燧石礫を含む)	〃	0:10
579 瓦(屋根・壁及床用)	従價	1 割
580 埴塼	〃	1 割 25
581 大理石、花崗石及全部又は主 として此等より作られたるも の(別號に掲げざるもの)	〃	〃
鑪 及 針		
617 鑪		
鑪面の長4吋を超えざるもの	1 打	0:137
(ロ) 同 4 吋を超え 9 吋を超えざ るもの	〃	0:21
(ハ) 同 9 吋を越え 14 吋を超 ざるもの	〃	0:42
(ニ) 同 14 吋を超えたるもの	〃	0:93
618 針及手縫用針	従價	0 割 75
686 金屬器具即蝶番・錠・鍵・鑿・ 爐圍灰除・爐用具・炭斗・鑪 及全部又は大部分が金屬よ りなる其他の製品にして別 號に掲げざるもの(針・工具 及機械又は其部分品を除く)	〃	1 割 25
696 鐵道材料		
(イ) 機關車及炭水車	従價	1 割
(ロ) 鐵道客車・貨車(電車を含む)	〃	〃
(ハ) 曳動及道路汽罐車	〃	〃
(ニ) 鐵道材料(別號に掲げざる もの)	〃	〃
709 工具及機械		

(イ)手工工具	從價	1割	(ロ)「エンジン」等)	從價	1割
(ロ)機械工具	〃	〃	(ヘ)電氣機械、材料及附屬品	〃	〃
(ハ)棉繰機械	〃	〃	(ト)織布機械	〃	〃
(ニ)農業用機械	〃	〃	(チ)醸造・蒸溜・精糖機械等	〃	〃
(ホ)推進機(「ホイラー」・「タービ			(リ)其他の機械及部分品	〃	〃

英國鐵道用鋼枕木採用問題 (昭和3年11月12日附在倫敦帝國大使館商務參事官松山晋二郎報告) 鐵道用枕木の用材は從來凡て木材のみに限られたるが、近時製鋼技術の發達に伴ひ、各國斯道の専門家は木材價格の騰貴其他の事情に鑿み、鋼材を以て之に代用せんとするの目的を以て之が實驗研究を累ねつゝあり。されど未だ其實施可能の結論に到達し得ざるものゝ如し。最近此問題に關しサア、ブローディ、ヘンダーソン氏が土木協會に於て演説せる要領下の如し。

「英國鐵道に於て現に使用しつゝある枕木の數量は1ケ年約400萬本を算し、凡てバルチック沿岸地方より輸入しつゝあるものなれば、若し鋼鐵を以て之に代用し得るに至らば夫等莫大なる輸入に代へ英國製鋼業の發展に資する所大なるものあるべきは云ふ迄もなかるべく、現に鐵道業は造船業に次ぐ最大鐵鋼消費者なれば、更に枕木を加ふるに至らば、其需要額は莫大の數量に達すべく、鐵鋼業の立場より見て非常に重要な問題たるべし。勿論鋼鐵枕木は今尙試驗研究中に屬し、其生産費の如き之を木材のものに比するときには尙甚だ高價なるを免かれず、且其使用年限も比較的木材より短きが如し。されど此等の缺點は試驗研究の進歩に伴ひ相當除却の方法發見せらるべきは疑はざる所なり。抑も木材枕木の使用年限は約20ケ年なるが、相當年月經過の後には主要線路所用のものは之を撤去して支線用に充て、其後は更に側線用となし、最後に薪燃料として利用せらるゝものにて、其使用年限長く、廢物利用的方面より見るも非常に經濟的なるが如きも、一方が轉用をなすが爲に消費すべき労働費の額相當多額に上るものあるべく、此點よりして兩材の比較を試みるあらば鋼鐵未だ必ずしも木材より高價なりとは斷すべからざるものあるべし。

鋼鐵枕木は熱帶諸國に於ては既に其實用を見る所なるが、是れ木材枕木が白蟻の侵蝕する所となるが爲にして、英國に於ては此等害蟲防止方法としてクレオソート注入を實施しつゝあり、非常に有效なるを以て此點は鋼鐵との優劣を比較するの必要あらざるべし。紐育に於ては鐵道用枕木として若し鋼材を使用するとせば、其喧囂一層甚しきを加ふるに至るべしと唱ふるものあるが、此點未だ實際問題として證明せられたるにあらず。されば其他の問題即ち鋼材が木材同様運轉を圓滑ならしめ得べき可能性如何と共に、今後の實驗研究に俟つの必要あるべし。

兎に角英國鐵道業が鐵道維持の爲め年々其材料費として支出する所は450萬磅の巨額に上り居れるが、其大部は軌條枕木之を占め、前者使用數量1ケ年20萬噸、後者400萬本を消費しつゝあるに見ても、本問題の重要な所以を了知し得べきなり」云々(海外經濟事情 46號)

西部獨逸鐵鋼業爭議と市況 (昭和3年11月28日附在伯林帝國大使館商務書記官長井亞歷

山報告) 西部獨逸製鐵鋼同加工業爭議の解決も意外に遷延勝なるが、同地方一帶の全生産の中止にも不拘、國際市場に比較的影響を與へざるは特記すべき事實なり。通常斯る事件の發生により、當然海外競争筋に活況を呈すべきは、1926年4月英國炭坑夫の罷業に際し、直に競争國の炭價の昂騰と共に、更に鐵價及鐵鋼加工品に至る迄、價格の奔騰を見るに至りたるが如き適例を以て明なり。

然るに西部獨逸の工場閉鎖以來、既に3週有餘を經過せる今日、爭議の解決を見ざるも外國市場依然として、平靜にして、僅に2、3の製品の上騰を呈するに過ぎず。一般相場は事件發生前來の強調を支持せられ、特に變動を見ざりしは、全く事件の解決比較的速なりとの豫測に基き、投機筋の活動を見ざりしものと推測せらる。

又粗鐵市價に關しては、エツセンの粗鐵組合は需要先に同狀を發し、契約數量は勿論受渡期日を完全に保證すべき旨聲明せるが、組合は12月渡契約に對しても同一價格、其他同一條件にて取極めたりと。

同地方に於ける爐數は96本なるが、其内爭議の爲め休止せられたるもの60本なりと、ウエストファーレン地方は生産高より見て、全獨逸の8割を占め、之が爲め假に爭議地方外の諸製鐵地方が全能率を發揮し生産に當るとしても、僅に22萬噸乃至24萬噸を超えざるべし。(平常總生産高100萬噸)

以上の如き生産の激減を生じたるにも不拘、粗鐵組合は能く契約先に受渡を保證する所以は、主要需要筋も亦此爭議地方に在りて休止の狀態に在り、且又同地方外に在荷を保有し居るが故なり。

夫故粗鐵組合は契約引當として、輸入の必要に迫らるゝが如き事萬可無も、本紛争により獨逸は實に製鐵産高の8割の激減を生ずる結果、萬一獨逸粗鐵組合が對佛ルクサンブルグ、ザール等の協約なかりせば、今回の如き事件に際して相當前記諸國よりの輸入を見るべきは勿論なり。故に恐らく在荷の存する限り又特種の製品を除き、國外より輸入を見るが如き事無かるべしと。

尙獨逸の本工業製品の輸出に付は、其數量は海外市場に影響を及ぼす程度に達し居らざるが故に、獨逸の輸出減少によりて、他國を利するが如き事なかるべしと觀測せらる。

製鋼業並に製鋼材に及ぼす爭議の影響は、前記粗鐵の場合より更に僅少なり。其は一面國際協定の制限の結果並に需要地が主として亦此爭議地方なるが爲なり。

鐵鋼産高の7割乃至8割は此ライン、ウキストファーレンにして(多少隣接地域の一部を含む)、本年10月全獨逸粗鋼産高は(30萬噸なりしが、其内100萬噸は前記ライン、ウキストファーレン地方産出に係るものなり。

鋼材の在荷は爭議地方に相當數量存し居るも、同地方工場よりの運搬は目下困難なるらしく、組合は極力前記の在荷並に其他の地方に保有せる分を以て需要筋の必要を充さんと努力中なり。但し或種の鋼材(帶鐵)の如きは既に原料の不足を遂げ、其他漸次不足を訴へる筋續出の見込なり。

(但し大筋には多少政策上斯る主張をなすものあらん)

國內需要に對しては前記の通なるが、國外市場に對し目下何等の影響をも認めざるは、單に爭議期間短からんとの豫測の外に、國際鋼産カルテルが有力なる原因をなす。即ちカルテル加入國は其生産高に制限を有し、且價格によりて多大の利益を得る見込なき模様なればなり。

前記カルテル加入國の輸出能力は白耳義、ルクサンプルグ、ザール、ロートリンゲン等何れも注文に對し相當長期間を要する程活況を呈し居るを以て、更に此上能率増大可能なりや又有利なりや疑問視せらる。佛國、白耳義兩國の生産高は既に本年9月末迄にカルテル所定の制限高を超過したる爲本爭議に乗ずる爲め更に増産し課金を支拂ひて果して尙利益ありや、又當分爭議解決せざるものとして工場擴張等をなすが如きは想像し難し。

尙爭議地方の復業と共に、獨逸生産者側は國際取極高に達すべく、全力を増産に注ぐべく、海外市場に於ても自然獨逸の輸出高の増大により、相場を反落を豫想せざるべからず。以上の各種事情により推察すれば、今後大局に影響少かるべしとせらる。

英國はカルテルの掣肘を受けざるも、鍼力需要地たる西部獨逸の爭議の爲、獨逸への輸入額減少せり。(海外經濟事情 46)

第五十六回帝國議會に於ける鐵鋼問答 (昭和4年2月6日豫算委員第五分科(農林省及商工省所管)會議事録(速記)第二回)

○横堀委員(衆議院議員、工學博士横堀治三郎君)(前略) それから續いてもう一つ伺ひます事は、製鐵業の問題であります、極簡単に申し上げますが、鐵は今日政府に於て特別の保護をせられ、非常な御熱心を以て獎勵の方法を講ぜられて居る事は私共の深く認めて居る所でありますが、併し申す迄も無く日本は鐵の原料が無いのであります、多く之を今日では支那若くは南洋方面から仰いで居る、斯う云ふ有様でありまして、又是に要する處の燃料、就中コークスの如きは世界一高い大きな國強い國の中では一番日本が高い、原料は他所から仰ぎ、又燃料は高い所のものを用ひる、製鐵事業の獨立とか發達とか云ふ事は中々是は容易でないと思ふ、本當に國の産業を發達させると云ふ根本的の見地から言ふならば、是は私にも少し徹底的の手段を以て獎勵をするなり、保護をするなりと云ふ事が必要ではないか、今の現に行はれて居る處の獎勵法は、寧ろ現時の經濟關係を救濟すると云ふに止て居るのではなからうか、それよりも進んで國家事業としての根本的の見地に於て之が保護助長の策を講じたらどうかと考へます、それに付いては先刻申し上げました通り、日本では高い原料を用ひてやるのであるから、到底歐米のそれと對比する事が出来るやうになる事は困難である、假に對比する事が出来るやうになつても、それは一時的のものであつて、それには非常な無理が伴つて居るのであるから、結局は疲れてしまふやうな事になると思ふ、それが疲れないやうに、長く國の事業として繼續が出来るやうにし、更にそれに依て將來諸般産業の導きともなるやうな方法を講ぜられる事が寧ろ適當の策ではなからうかと存じます、それに付ては今日日本に於ける製鐵事業の原料等は、外國に於ける原料の價格より高い、例へば鐵鑛石1噸に付て2圓とか3圓とか高い、又コークスの如きも3圓内外高いでせうが、其高いものを引下げて海外のそれと同じ基準に置いて、そして其差額だけのものは國家が之を補助してやる、鑛石に付ても2圓、3圓高い分は國家が之を拂つてやる、燃料に就ても3圓高いならばそれだけを國家が拂つてやる、そして海外と對等の經濟状態に置いて奮勵努力をして日本の生産品を安く、且又品質の良いものにする、それに依て機械工業や或は其他作工業を發達させるやうに導かれたらどうかと思ひます、是を日本の製鐵事業に重きを置きまして、どうか國家事業として發達するやうにと云ふ見地から申上げる次第であります之に對する政府の御意見は如何であるかを伺ひます。(下略)

○中樞國務大臣 鐵の工業の獨立の事に付ては只今御意見を伺ひましたが、是れは横堀さんは其方の玄入でいらつしやる事ありますから能く御調査の事と思ひます、私も鐵鋼業に付てはどうか之を盛にしたいと考へて、先年來一通

りの研究をして居るのであります、其見地よりして見れば只今横堀さんの御心配の點は、最早今日では無くなつたてはないかと云ふ事を此處で申し上げます、と申しますのは長い間鐵は内地の原料を以て内地で製造すると云ふ事を皆研究した譯であります、内地に於ても鐵の原料は相當にあります、砂鐵でも使へば無盡藏に在ると申しても宜しい程ありますが、それを使つたのでは何分にも高く付くと云ふ事が一つの缺點であります、そこで砂鐵の原料に付て之を安く製造すると云ふ研究に付て、先年獎勵金を出してやつて居りますが未だ其成績の見るべきものがありませぬまだ 2、3ヶ所に付てやつて居りますが1ヶ所の如きはまだ何もしない、それで今年からは其獎勵金は停止する積りて居りません、併し大體と致しまして、今日鐵鋼業は最早獨立の域に達したりと申上げて宜からう、もう數年経つたら立派に獨立して我國の需用は全部國內に於て之を供給し得る迄の域に達しました事は、洵に喜ぶべき事と思ひます、と云ふのは吾々は日本一國を以て鐵鋼業の生産をやらうと云ふ考を持つて居りませぬ、其考は今日は殆ど拋棄したと云ふと極端になりますけれども、餘り今日はそれに熱中しないで宜い即ち日本と支那と南洋之を鐵産業に對しては經濟的に一國と見て仕事をする、そうして亞米利加なり獨逸と競争する、競争し得べし、斯う云ふ確信の得たりと申上げて宜いと思ひますと申します事は支那からは從來より取つて居りましたが、今日は御話にもありました通り南洋からも取つて居ります、而して我國が支那から取る事は亞米利加が自國內から原料を取つて居るのよりまだ近いのであります、南洋はそれより少し遠い位でありまして、大した差も無いと云ふ状況であります、南洋地方にはまだ澤山に鐵の原料のある場所がある斯う云ふ調査も一通りして居ります又濠洲などには良い物もあると云ふ報告も近來到着して、見本も來て居るやうな譯であります、此原料に付ては支那、南洋から持つて來るとしても之が亞米利加位の大きさの國だと思へば殆ど自國內から取ると同様であります、それからコークスの御話がありました、之に付ても總ての原料を世界で一番安いものとして他も競争する事は是はむづかしからうと思ふ、一方に於ける其缺點は他に於て研究なり經營の方法なり、努力なりに依て之を補ふと云ふと云ふ事が、經營の基礎ではないかと思ふ、それで今日の製鐵業の大勢を申し上げますと、是は御承知でありませうが御參考迄に申し上げますれば、日本の製鐵業の能率の増進は此 6、7年間に非常な勢で進んで、來て居りまして、燃料に於ては以前の半分位で出来るやうになつて居り、又勞力の能率に於ても以前の 1/3 位で出来るやうに此 7、8年間に進歩し而して其進歩はまだまだ止んで居りませぬ、燃料に於ても勞力の能率に於ても年々進歩してまだまだ安くなるであらうと思ひます、非常に努力する國民であり有力なる國民であると云ふ事を申上げて宜しからうと思ひます、今日は現に日本で需用する 2/3 は内地で出來、1/3 ばかりを輸入して居りますが先日も貴方も其御一人であるかどうか知りませぬが鐵鋼協議の會と云ふものを民間の諸君が御指へになつて政府の者も一、二名這入つて居りましたが、昭和 6 年には全體の日本の鐵は自分で供給する事が出来るだらうと云ふ申合をしたが、昭和 6 年ではどうか知れぬが餘り遠からぬ將來に於て自給自足が出來て更に輸出をすると云ふ域に達するだらうと思はれるやうに生産費が下りつゝあるのであります、生産費が下りさへすればそれで宜いのであつて、大體から申して今日では亞米利加と同等の値段で出來つゝあると申して宜からうと思ひます、此次には獨逸と競争する、斯う云ふ域に今進みつゝあるので、是は全く努力研究の結果であらうと思ひます、先年農商務省に於て製鐵業獎勵の爲めに官民合同してやつたら宜からうと云ふ議があつて、委員會で決議になつて居りますが、今日に於ては其必要はない、鐵鋼業に於て困難をして居ると云ふ噂も餘程減つて來ました、從來に於ては随分不經濟に金を使つたもので、鐵の最も高い時代に資金を投じた其弊害が残つて居つたのであります、今日の進歩したる方法でやれば安く出来るのであります、釜石の鑛山の如きも三井の經營に移つて以來盛にやつて居る、製鐵所も其通りでありまして、從來の遅れたる設備は破壊して新式の設備に改築してやつて居ります、要するに斯の如き状態でありまして、大して心配の必要はないと云ふ事を茲に申上げて宜からうと思ひます、餘り大膽な事を申すと思はれるか知らぬが、形勢が一變したから原料總體に付ての心配は無用であると云ふ事を陸軍當局に對しても申した次等であります、そこで昨年本豫算編成の前後に方りまして、鐵の關稅を引上げる云々と云ふ事が新聞にもあつたが、吾々の方に於ても計劃をして其調査は出來て居ります、所が偶然にも鐵の値段が騰り出したと云ふ事で、今日の値段ならば現在の發達したる設備を以てすれば無論引合ふのでありますから、今日は民間に於ても關稅引上に付ては鳴りを鎮めて居る、斯様な譯でやらうと思つて居た關稅の引上に依る保護獎勵の事も止めたのであります、再び値段が下つて來ましたならば、或は來年の議會位には其必要が生ずるか知らぬが、今の所では其必要はない獨逸に於ても一時は極端なる生産を爲した爲めに随分安いものが入つて來たが、向ふても常態に復して來ればそう安くも出來ぬやうになつて來たのであつて、今日の所では先づ御安心爲さつて宜からうと思ひます、燃料の研究とか、砂鐵の研究と云ふ方面には補助を出す事にして居るが

今日の所では現在の關稅率で製鐵業は相當引合つて行くだらうと思ふ、此状態で數年行つたならば獨逸と競争し得る地位に達し得ると考へて居るのであります次に鑛業法改正の御尋がありました「省略」

○横堀委員 只今大臣の御説明は私が問はんとする處よりも一層廣い範圍に亘つて御説明を戴きまして洵に結構な事と拜承致しました、斯くてこそ相與に眞に國政を議する事が出来るので此點は深く諒と致します、御説明の中に製鐵業は獨立が出來て來て居るので心配がいらぬと云ふ事であつたが、私もそうありたいと存じます、それに付ても少し設備とか、企業組織を改善したならば、一層良成績を擧げ得るであらうと云ふ期待を以つての御意見と拜承致しましたが、私共もそう感じて居りますが、多年困憊し來つた製鐵業者が是等の點に付て資金を投ずる事は容易でありませぬ、就ては政府當局としても、之が援助をする爲めに低利資金の融通と云ふが如き方法に依て、一時も早く製鐵事業の世界的進歩發展を促されるやうな御方針を御樹て下さつたら斯界の爲めに有難い事と存じます、此邊に付ても特に御考慮あらん事を希望致します、以上を以て私の質問を終ります、(横堀博士寄稿)

主要製鐵所に於ける鐵鋼材生産高調 (單位噸) 商工省鑛山局

種 別	11 月 分			1 月 以 降 累 計			
	昭和3年	昭和2年	比較増減	昭和3年	昭和2年	比較増減	
銑 鐵	125,869	103,645	22,224 21%	1,374,982	1,134,594	240,388 21%	
普 通 鋼	167,299	145,061	22,238 15%	1,686,516	1,501,852	184,664 12%	
普 通 鋼 材	151,187	137,979	13,208 10%	1,499,955	1,274,320	235,635 19%	
内 譯							
販 賣 向 鋼 片	9,323	4,558	4,766 105%	44,461	62,342	17,881 △ 29%	
販 賣 向 シ ー ト ー	519	—	519	6,897	540	6,357 1,170	
鋼 板	厚0.7mm以下 其 他	8,702	7,935	767 10%	94,291	77,707	16,484 21%
		24,862	29,052	△ 4,190 △ 14%	282,889	230,818	52,071 23%
棒 鋼	45,247	47,605	△ 2,358 5%	498,425	418,254	80,271 19%	
形 鋼	27,940	15,035	12,905 86%	236,950	184,709	52,241 28%	
軌 條	18,006	21,043	△ 3,037 △ 14%	189,375	164,875	24,500 15%	
ワ イ ヤ ロ ッ ド	1,447	3,334	△ 1,887 △ 57%	23,326	24,173	△ 847 △ 4%	
鋼 管	6,406	4,546	1,860 41%	61,373	45,763	15,610 34%	
其 他	8,735	4,871	3,864 79%	62,068	55,139	6,929 13%	

△ 印は減

主要製鐵鋼所に於ける鐵鋼材生産高調 (單位噸) 商工省鑛山局

種 別	12 月 分			1 月 以 降 累 計 (全年分)		
	昭和3年	昭和2年	比較増減	昭和3年	昭和2年	比較増減
銑 鐵	132,782	119,910	12,872 11%	1,507,764	1,254,504	253,260 20%
普 通 鋼	180,538	141,354	39,184 28%	1,867,053	1,613,206	223,848 14%
普 通 鋼 材	158,191	134,226	23,965 17%	1,658,146	1,338,546	259,600 19%

内 譯							
販 賣 向 鋼 片	9,066	5,642	3,423 61%	53,527	67,984	△ 14,457 △ 21%	
販 賣 向 シ ー ト バ ー	582	434	148 34%	7,479	974	6,505 668%	
鋼 板	厚0.7mm以下 其 他	11,114	8,163	2,951 36%	105,305	85,870	19,435 23%
		25,732	27,776	△ 2,044 △ 7%	308,621	258,594	50,027 19%
棒 鋼	56,935	42,192	14,743 35%	555,360	460,446	94,914 21%	
形 鋼	19,342	23,217	△ 3,875 △ 17%	256,292	207,926	48,366 23%	
軌 條	20,396	13,683	6,713 49%	209,771	178,558	31,213 17%	
ワ イ ヤ ロ ッ ド	2,261	3,367	△ 1,106 △ 33%	25,587	27,540	△ 1,953 △ 7%	
鋼 管	6,140	4,556	1,584 35%	67,513	50,319	17,194 34%	
其 他	6,623	5,196	1,427 27%	68,691	60,335	8,356 14%	

△ 印は減

昭和 3 年 12 月中外國銑輸入高 (銑鐵共同組合)

輸入港 輸出國	横 濱	神 戸	大 阪	門 司	其 他	計	1 月以降 累 計
印 度	10,494	5,637	9,944	2,008	1,020	29,103	312,975
英 國	—	102	—	—	—	102	8,463
獨 逸	—	2,218	—	—	—	2,218	6,638
佛 國	—	—	—	—	—	—	179
白 耳 義	—	—	—	—	—	—	867
米 國	1,027	7,393	—	—	—	8,420	22,493
和 蘭	—	—	—	—	—	—	101
瑞 典	—	—	—	—	—	—	1,709
計	11,521	15,350	9,944	2,008	1,020	39,843	353,425

備考 大藏省主税局調査の數字は單位擔なるを以て一擔 0.06048 噸の割合にて換算したり

昭和 3 年 12 月中八幡製鐵所銑鋼生産高 (噸)

銑 鐵			鋼 塊			鋼 材		
本月生産	前月比較	一月以降 累 計	本 月 生 産 高	前月比較	一月以降 累 計	本月生産	前月比較	一月以降 累 計
72,686	+3,859	836,890	107,024	+10,713	1,097,961	83,405	+5,383	887,761

銑鐵市場在庫高月報

昭和 3 年 11 月 30 日現在 三菱商事株式會社金屬部

市 場	持 主 別			合 計	前月比較
	生産筋	問屋筋	消費筋		
東 京	10,314 噸	1,810 噸	12,725 噸	28,529 噸	+3,577 噸
横 濱	3,680	—	—		
名 古 屋	3,767	3,820	2,360	9,947	+2,889
大 阪	12,634	19,450	18,770	73,324	+9,361
		50	22,370		
神 戸					

門長函室兼大其合前月比較 備考 前年度同月	司崎館 蘭石浦連他計	2,386 — 12,266 492 6,560 29,911 362 82,422 -2,474 91,495	1,560 — — — 3,795 — — 30,485 +1,709 24,168	2,275 250 — — — 485 — 59,235 +8,680 58,884	6,471 — 12,266 492 6,560 34,191 362 172,142 +7,915 174,547	+ 39 — -2,348 - 303 -9,448 +3,887 + 261 +7,915 — —
-----------------------------	---------------	---	---	---	---	---

銑鐵市場在庫品種別月報

昭和3年11月30日現在 三菱商事株式會社金屬部

品種	京濱	名古屋	阪神	九州	滿鮮	北海道	其他	合計	前月比較
兼二浦	8,840	3,395	17,512	1,827	6,995	—	180	37,749	+2,636
釜石	435	—	700	—	—	—	492	1,627	- 398
輪西山	5,567	3,180	4,600	215	—	12,266	—	25,828	+6,016
鞍山	1,475	1,020	7,110	1,620	30,040	—	—	41,265	+3,193
本溪湖	934	672	6,162	674	3,501	—	182	12,125	+ 338
淺野	4,080	—	—	—	—	—	—	4,080	-1,006
大暮	—	—	—	20	—	—	—	20	+ 20
Tata	1,170	—	7,000	100	—	—	—	8,270	+ 545
Burn	5,570	500	10,330	1,700	65	—	—	18,165	+4,545
Bengal	245	760	6,350	250	—	—	—	7,605	- 115
Cleveland	88	—	—	—	—	—	—	88	+ 28
Hematite	75	—	480	—	—	—	—	555	- 135
Swedish	—	—	120	—	—	—	—	120	+ 40
Luxembourg	—	—	—	—	—	—	—	—	- 40
Mysore	—	—	—	50	—	—	—	50	- 80
米國銑	50	—	11,400	—	—	—	—	11,450	+3,980
大陸銑	—	—	—	—	—	—	—	—	- 175
雜	—	420	1,560	15	150	—	—	2,145	+ 550
合計	28,529	9,947	73,324	6,471	40,751	12,266	854	172,142	+7,915
前月比較	+3,577	+2,889	+9,361	+ 39	-5,561	-2,348	- 42	+7,915	—

銑鐵市場在庫月報

和昭3年12月31日現在

三菱商事株式會社金屬部

市場	持主別			合計	前月比較
	生産筋	間屋筋	消費筋		
東橫名古	17,225	1,375	20,710	42,574	+ 14,045
	3,264				
大神門長函室	3,815	4,680	2,200	10,695	+ 748
	10,224	21,300	18,200	74,334	+ 1,010
司崎館	5,139	1,441	24,560	42,688	+ 6,217
			5,825		
蘭	7,907	—	285	7,907	- 4,359
			—		

